

南牧村新型コロナウイルス拡大防止支援金支給申請書兼口座振込依頼書

令和2年 月 日

南牧村長 大村公之助 様

南牧村新型コロナウイルス感染症対策補助金交付要綱に規定する事業番号4に係る経営支援金の支給を受けたいので次のとおり申請します。また本申請書の記載事項に相違ないこと、及び誓約事項を遵守することを誓います。

1. 申請者

フリガナ		担当者名
氏名・名称	印	
法人の場合、代表者の職・氏名も記載		連絡の取れる電話番号
住所・所在地		

2. 使用停止等施設

商号・屋号 施設名称		通常の営業時間 (飲食店・居酒屋等の場合)
所在地	南牧村 大字 番地	: から : まで
施設種別	<input type="checkbox"/> スナック等 <input type="checkbox"/> 飲食店 <input type="checkbox"/> 喫茶店 <input type="checkbox"/> 居酒屋 <input type="checkbox"/> 温泉 <input type="checkbox"/> 旅館・ホテル <input type="checkbox"/> 土産品店	

3. 使用停止等の内容

要請内容種別	<input type="checkbox"/>	休業	令和2年 月 日 () から令和2年5月6日 (水) まで休業しました。				
	<input type="checkbox"/>	時短	令和2年 月 日 () から令和2年5月6日 (水) まで次のとおり営業時間を短縮しました。				
		営業	開店時刻	:	閉店時刻	:	アルコール提供有無
<p align="center">県・市町村連携 新型コロナウイルス拡大防止協力金等に該当しない「止むを得ない理由」</p> <p>具体的に… (申請額が50万円の場合のみ：裏面参照)</p>							

4. 支援金申請内容

必ず記載してください

申請金額 (いずれかに○)	400,000円		.	500,000円	
振込先	金融機関名	支店名	口座種別	口座番号	口座名義

5. 誓約事項

(1) 本申請内容が事実と相違した場合は、支援金の返還に応じるとともに施設名を公表されても異議ありません。

(2) 申請書類に記載された情報を確認できない場合は、村が申請内容の確認及び調査等を行うことに同意します。

(3) 代表者、役員、従業員に暴力団関係者等は存在せず、経営等にも参画していません。

(4) 提出書類に軽微な不備があった場合には、村による修正を認めます。

申請者氏名 (自書) _____ 印 _____

6. 添付書類

① 営業実態確認書類 ② 休業状況確認書類 (裏面の商工会証明に代えることができます。)

営業実態証明書

本申請の事業者は、緊急事態措置に伴う施設使用停止等の要請以前から営業活動を行い、同要請が発出されなかった場合には通常の営業活動を行っていた事業者であることを証明します。

令和2年 月 日

証明責任者

	印
--	---

証明を受けない申請者は、

法人の場合… ①法人県民税・法人事業税申告書の写、②直近の経理帳簿
 個人事業種の場合… ①青色申告決算書又は収支内訳書の写、②直近の経理帳簿

を提出してください。

休業状況証明書

本申請の事業者は、申請どおり施設使用停止等を行ったことを証明します。また、止むを得ない理由により県・市町村連携新型コロナウイルス拡大防止協力金等の支給申請ができない事業者であることを証明します。

令和2年 月 日

証明責任者

	印
--	---

証明を受けない申請者は、

①休業を告知するHP、店頭ポスター、チラシ等の写、写真又は電子データ

を提出してください。

県・市町村連携 新型コロナウイルス拡大防止協力金等に該当しない「止むを得ない理由」の例

- ・ 営業終了時刻を〇時に繰り上げ時短営業したが、もともとの営業時間が20時前で対象とならないため
- ・ 24日の宿泊予約者と連絡が取れず、到着してしまい休業できなかったため
- ・ ○○○の理由により休業（時短営業）の開始が24日に間に合わず25日からとなってしまったため
- ・ 観光集客施設であるため休業したが、県の使用制限等要請対象施設の対象外であるため など